

- 2030年代に実現を目指す次世代ITSサービスを具体化し、車載器とスマートフォンが連携した次世代ITSサービス向けシステムを開発します。

背景と目的

- ITSサービスを巡る急速な技術進展(自動運転技術、AI、通信機器等)
 - 道路交通情報へのニーズの多様化(自動運転車への情報提供等)
 - プローブ情報の利活用ニーズの多様化(プローブデータの精度、リアルタイム性等の向上等)
- ⇒ 2030年代に導入可能な次世代ITSサービスの実用化を目指す

研究項目① 次世代ITSサービスの要件定義

次世代ITSサービスの実現に必要な機能、性能、技術的要件を検討し、要件定義書を作成

車載器とスマートフォンの連携による
ユーザ向けサービスイメージ(例)

- 安全運転支援の強化
 - ・災害、事故等発生時の道路の異常を早期にスマートフォンに表示
- 民間サービス連携
 - ・ETC料金、各種支払い及び割引適用等の一元化

研究項目② システムの技術資料の作成

車載器とスマートフォンとの連携機能を有するシステム(車載器、スマートフォン、サーバ等)にのりくワイアメントを整理し、技術資料を作成